

『東北居住支援シンポジウム』の開催について

単身世帯の増加や持ち家率の低下等が進む中、今後、高齢者、低額所得者、障がいのある方などの住宅確保要配慮者の賃貸住宅への居住ニーズの高まりが見込まれています。その一方で、賃貸人の中には孤独死や死亡時の残置物処理、家賃滞納等に対しての懸念をお持ちの方が多くおられます。

このような社会背景のもと、10月1日に施行した改正住宅セーフティネット法の理念である『誰もが安心して賃貸住宅に居住できる社会の実現』を目指し、東北エリアにおける居住支援の取組について国・自治体・関係団体等がともに連携しあいながら、より一層の推進を図っていくため、県と「みやぎ住まいづくり協議会^{※1}」では、国土交通省と共催し、『住生活月間^{※2}』の一環として本シンポジウムを開催しますので、報道機関の皆さまにおかれましては、ぜひ取材して下さるようお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和7年10月31日（金曜日）午後1時30分から午後5時00分まで
- 2 場 所 フォレスト仙台（仙台市青葉区柏木一丁目2番45号 電話番号 022-271-9340）
- 3 主 催 宮城県、みやぎ住まいづくり協議会
共 催 国土交通省
後 援 厚生労働省、法務省、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、仙台市
- 4 対 象 者 居住支援に関わる皆さま
- 5 プログラム（1）基調講演

講 師：東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授 大月 敏雄 氏

テーマ：東北における居住支援を住宅政策と社会保障の視点から考える

（2）パネルディスカッション

コーディネーター：東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 教授 大月 敏雄 氏

パネラー：大牟田市居住支援協議会 事務局長 牧嶋 誠吾 氏

大館市建設部建築住宅課営繕係 係長 久保田 武人 氏

一般社団法人 fukucier（ふくしえる） 代表理事 小林 しのぶ 氏

公益財団法人全国賃貸住宅経営者協会連合会宮城県支部事務局 本田 勝祥 氏

テーマ：東北における居住支援の課題と解決策

6 その他 詳細は別添のとおり。

※1 宮城県住生活基本計画における住宅施策や取り組みを、産学官が連携・協働して総合的かつ効果的に推進し、みやぎの豊かな住生活の実現に寄与することを目的として、県、市町村、各種専門家団体により構成される協議会

※2 国民に住宅、住環境、住まい方等について考える機会を広く提供し、国民の住意識の向上を図り、豊かな住生活の実現に資するため、国土交通省が毎年10月を「住生活月間」と定めたもの